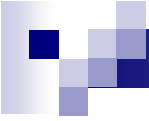


# 平成14年度の 検討委員会内容

**松江市ガス事業経営検討委員会**



# 松江市ガス事業経営検討委員会 設置経緯(平成14年7月)

## 【国の動き】

- 「行政改革大綱」閣議決定(平成12年12月)
  - ・「官から民へ」「小さな政府」を掲げた改革に着手
  - ・小さな自治体づくりに一斉に動き出す
- 総務省の「公営ガス事業の民営化手法研究会」報告書(平成14年3月)

## 【松江市の動き】

- 「旧松江市行財政改革大綱」(平成13年12月)
  - ・公営企業の経営活性化
    - ①民営化の推進
    - ②経営健全化への取り組み



# 検討委員会での主な論点

1. ガス事業のあり方・方向性について
  - ・民営化の是非
  - ・民営化の手法
  - ・地元企業への影響について
  - ・熱量変更共同化事業への影響
  - ・職員の処遇について
  - ・民営化した場合の問題点と課題について
  
2. 経営の健全化
  - ・長期財政計画について



# 検討委員会提言要旨（平成15年2月）

1. 本市ガス事業を将来にわたって公営企業として継続することは極めて厳しい状況が予想されることから、今後民営化の方向で検討すべきである。

そこで、制度改革やエネルギー需要の動向、市町村合併の状況等を見ながら、平成17年度以降に再度、専門家を含めた新たな検討委員会を設けて検証を行い、具体的に検討すべきである。

2. 当面継続する公営ガス事業では、一層の合理化・営業拡大策の推進等を積極的に進め、熱量変更事業の繰延勘定償却が終わり、平年度化する、平成22年度以降の単年度黒字化に向かって努力すること。



# 民営化の方向で検討する理由

( 提言書要旨 )

- ① 松江市総世帯数に対する需要家戸数の割合
- ② 今後、自由化が進み、価格競争の激化が予想
- ③ 民間的発想によるマーケティング戦略、積極的・弾力的な営業展開に限界
- ④ 技術開発や機器開発が著しい中で、民間企業と連携した技術戦略を打ち出すことには限界
- ⑤ 今後、官が行っている事務・事業は急速に民間に開放されていく方向
- ⑥ 人材育成(人事管理面など市長部局とのローテーションや調整が必要)